

# 令和3年12月 学校長だより 高千穂高校

令和3年12月17日

「一段と寒さを増し 花木も枝葉を震わせている」

校長 佐伯浩美

‘わ～ 6時を回るとる’ 時計を見て慌てて飛び起きる朝がある。夏に比べ30分ほど起きる時間が遅くなってきた。睡眠時間は、日照時間と関係があるようだ。6月と12月では、夜が明けのに2時間ほど差がある。今日(12/17)の高千穂町の日の出は7時11分で日の入りは17時12分。暗い時間に家を出て、学校へ向かう生徒や先生が多くいる。部屋の電気は消したか？こたつのスイッチは？そして、ストーブの火は？ と慌ただしく家を出る保護者の方もいらっしゃるのだらう。心配になって家に引き返し、確認して再び出直す方もいらっしゃるのでは？(笑)

登校時間ギリギリに校門を走り抜けていく生徒が多くなった。朝のスタートが遅れると慌ただしい1日の始まりになる。失敗のリスクも高まる。夜明けが遅く日没が早い時季になっているが、気温は太陽の動きと2ヶ月のタイムラグ(関連し合う2つの現象の間に生ずる時間のずれ)があり、これからますます空気の冷たさを感じる季節となっていく。

## 国公立大学合格

鹿児島大学理学部 鹿屋体育大学体育学部

山口県立大学看護栄養学部 北九州市立大学法学部

現在4名の合格者が出ている。高校での成績や小論文・面接など人物を評価し、入学の可否を判断する学校推薦型入試・総合選抜型入試で合格した。学力も必要ではあるが、高校在学中の諸活動の成果や人としての考え方や生き方が高く評価された。大学でさらに高い専門性を学び身につけ、社会で活躍する人材に育てて欲しい。まだまだ結果を心待ちにしている生徒もいるが、多くは1月15・16日に大学入学共通テストを受けて、志望校に挑戦する。頑張りが結果に表れる。夢は必ず叶う。信じている。

## 国立大学の学生と本校生徒の交流会を行った

12月2日熊本大学グローバルリーダーコースの学生と2年4組(普通科特進)生徒がGIAHS(世界農業遺産)や観光資源について英語で交流を図る取り組み、通称「熊本大学高千穂塾」を行った。平成29年にはじまり今年5回目の開催。「高校時代にやっておいた方がいいことは？」という質問に対し、熊大生が「勉強をもっとやっておけば良かった。学力は必ず必要。勉強のできる人は、カッコいい。」の発言を聞いた2年4組の生徒に火がついたはず？(そうでありたい)

12月10日宮崎大学地域資源創成学部1年生と3年2組(経営情報科)生徒が「高千穂町の人口減少対策」についてのワークショップを行った。西臼杵のイメージや課題を考え、理想像を実現するためのアイデアを出しあった。11月27日にも農学部・工学部の6名の学生と生徒会・まちなか観光案内・インターアクトから選ばれた6名の生徒が同様の交流を行った。生徒たちに地域の課題を認識させ、校内外の人たちと語り合い学び得た若者の発想は、過疎化する地域を必ず元気にしてくれるはずである。